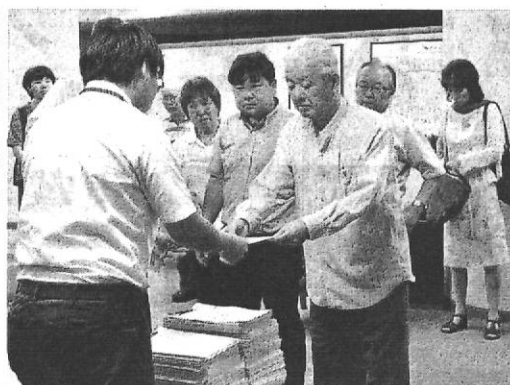


## 大阪市営交通

署名を提出する参加者  
14日、大阪市役所



# 便利で安心・安全の発展を 市議会に署名1万9766人分

会の30人が提出

交通権の確立・大阪市営交通を守り発展させる会

(大阪市営交通の会)は14日、「地下鉄と市バスの一体運営で便利で安心・安全な市営交通の発展を求め」陳情署名1万9766人分(第1次分)を大阪市議会に提出しました。

署名は、「民営化」の是非を議論する前に、地下鉄の黒字を活用して、地震・津

波、ゲリラ豪雨などの防災対策やホームの可動柵の設置などの安全対策や、市バスへの支援で市民サービスの拡充など、地下鉄・市バスの一体運営での市営交通の発展を求めています。

提出には、大阪市営交通の会の宮崎守正事務局長ら約30人が参加。日本共産党の瀬戸一正、山中智子両市議員も同席しました。

宮崎事務局長は、「浸水対策やホーム柵の設置などの陳情項目は、大阪市営交通の発展と市民の足を守るという立場での要求で、これを本当にやり切ろうとしたら民営化ではできない。引き続き取り組んで署名を積み上げていきたい」と話しました。

## 防災対策・ホーム可動柵